

女性活躍推進事業【神奈川県横浜市】

地域の実情と課題

- ・30代、40代の労働力率が低く、M字カーブの谷が深い。
- ・市内事業所の女性管理職割合が15.1%にとどまっている。
- ・29年度の実績の結果、「女性社員の管理職への意欲に対する経営層との意識の違い」「大学生等に対するライフイベントを見据えたキャリア形成の必要性」「働き方改革・女性活躍に関する情報不足」「女性の再就職・継続就業のための職住近接に関する広報」が課題として挙げられた。

目的・目標

左記の課題解決に向けて

- ①経営層と女性社員の意識のギャップの解消
 - ②女性社員の採用・育成
 - ③働きやすい職場づくりに取り組む企業の増加
- に取り組みます。

【女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定割合（よこはまグッドバランス賞関連企業）】目標30% 実績40.3%(56社/139社)

事業の特徴

- ・IT業界の経営層向けセミナー及び女性管理職候補の育成研修を実施した。
- ・製造業界における女性活躍推進の課題解決に向けたヒアリング及び意見交換会の実施した。
- ・女性活躍の意義や働き方改革の必要性を伝えるセミナーを実施した。
- ・職住近接のモデル地区における取組の紹介冊子を作成した。

連携団体

- ・横浜市女性活躍推進協議会
市内経済団体及び有識者による協議会
- ・一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会
- ・市内大学
- ・横浜金沢産業連絡協議会、横浜市金沢団地協同組合
- ・川崎市

事業の効果

- ・各事業のヒアリングやアンケート結果からは、働き方改革・女性活躍に対する意識が高まった企業やリーダーシップを発揮したいと考えるようになった女性社員が多かった。
- ・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定割合（よこはまグッドバランス賞関連企業）も目標30%を超えることができた。

今後の課題

- ・女性の活躍推進を加速化させるためにも、女性リーダーを増やすことが必要である。
- ・男女がともに活躍するためには、職場だけでなく家庭での男女共同参画も必要であり、そのために、男性の家事・育児参画支援を行っていく。

事業の概要

横浜市女性活躍推進協議会における業界別女性活躍推進と広報・啓発

■IT業界では、経営層の女性活躍に対する意識啓発のためのセミナー及び、女性管理職候補の育成研修を実施した。

■製造業界では、市内中小企業の女性活躍に関する課題解決に向けて、具体的な取組を検討するためにアンケート調査や意見交換会を実施し、業界団体から市内企業へ発信するための報告書を作成した。

■横浜市女性活躍推進協議会として、女性活躍推進・働き方改革の意識づけのためのパンフレットを作成した。



女子学生及び既卒生等に対するキャリア形成支援

■男女がともに働きやすい職場づくりに取り組んでいる「よこはまグッドバランス賞」認定企業や、内閣府女性役員育成研修受講者の部長級の女性と、市内大学生との交流会を実施した。

■交流会の形式は以下のとおり

- ・主に4年生を対象とした採用情報を含む交流会
- ・主に3年生を対象とした採用情報を含む交流会
- ・学年等問わず、働きやすさやワーク・ライフ・バランス等を伝える交流会(座談会、パネルディスカッション、企業見学等)



事業の概要

女性活躍・働き方改革の普及・啓発

■川崎市と連携し、横浜市・川崎市内の企業の経営者・管理職・人事担当を対象に、女性活躍の意義と、働き方改革の必要性を伝えるためのセミナーを実施した。また、セミナーでは参加企業の取組例をベストプラクティスとして共有するための交流の場を設け、市域を超えて女性活躍・働き方改革に取り組む企業のネットワーク形成を行った。



地域限定主婦層就労支援事業広報・PR

■職住近接の実現に向けて、金沢臨海部で実施した企業見学会やイベント、求人情報の掲示等についてまとめた事例集を作成した。

